

令和4年度	学力創造プラン	日野第七小学校	第5学年
教科	児童の実態・課題	改善へ向けて	
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の意図に応じて、文章全体を正しく読む力が不足している。 ・段落相互の関係・内容のとらえ方が不十分である。 ・長文に不慣れであり、問題文を正確に読むことが難しい。 ・漢字や言葉の意味などの語彙力が低く、定着していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習の見通しを提示し、課題や目的意識をもたせることで、児童が主体的に学習に取り組めるようにする。 ○目的に応じて中心となる語や文、段落相互の関係を押さえて、内容を的確にとらえられるようにする。 ○家庭学習で音読させたり、朝読書の時間を確保したりして、意図的に長い文章を読ませ、慣れ親しませる。 ○漢字の知識を問う問題を定期的実施し、身に付けさせるようにする。 	
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容によって興味関心を示す領域が限定されている傾向がある。 ・地理的な条件や都道府県の位置などの知識が曖昧であり、定着していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な地域の学習を土台としながら、国内産業を中心に日頃の生活とどのようなかかわりがあるのかを確かめながら知識の定着を図っていく。 ○地図帳を積極的に活用し、特に位置関係についての定着を図る。 	
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・文章から場面や条件を正しく読み取ることが難しい。 ・言葉で理由を説明することが不得手である。 ・既習事項が定着しておらず、新しい学習と結び付いていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○問題文を正しくとらえるため、答えを導き出すために必要な語句に線を引き、正しく立式するヒントを自分で見付け出す力を培うようにしていく。 ○考えを説明する場面では、なぜを考える根拠を既習内容から導くことができるようにヒントを提示し、どのように関連付けていけばよいかを児童が自らを考えさせるようにする。 ○学習した内容を復習する機会を設け、ベーシックドリルなどを活用して、わからなく案ってしまったところへ立ち戻り、復習しながら学習内容の定着を図っていくようにする。 	
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題に対して、「なぜなのか」「どうしてなのか」の根拠を明確にすることや複数の情報をもとに結果を推測することが不得手である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○課題に対して、日頃起きている現象をもとにして考えさせる場面を多く設定していく。 ○発展的な思考力を伸ばすために、実験などでは、実験を行う前の予想・理由を大切にさせ、児童が結果をもとに自分の考えをまとめられるような工夫をする。 	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・曲にふさわしい音色や響きを考えて旋律楽器や打楽器を演奏したり、歌ったりする力が十分に身に付いていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材曲の作曲された背景や歌詞の内容、作曲者の思い等を知り、表現に生かせるようにする。 ・多様な楽器に触れさせることで、奏法や音色への関心を高めるようにする。 	
図画 工作	<ul style="list-style-type: none"> ・想像したこと、発想したことを表現することに自信がもてない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 作品作りの前に素材・材料に触れる時間を設定し、見通しがもてるようにする。 	

		○chromebook を活用し、鑑賞で児童相互に作品の良いところを伝え合う時間を設定する。
家庭	○裁縫や調理などの生活体験が少なく、作業に不安がある。	○家庭との連携を図り、裁縫や調理などは家庭学習でも行ってもらいながら、学習の充実を図る。
体育	○鉄棒やマット運動など、体の柔らかさや体を操作する動きなどが苦手である。	○体ほぐしの運動は、柔らかさを高めるだけでなくけがの防止につながることも伝え、授業の中に取り入れていくようにする。 ○体の動きに着目させ、課題を解決していくヒントや情報を示しながら運動技能を習得させていくようにする。
道徳	○生命を大切にする気持ちや集団の中の人間関係について、実践力に結び付けていこうとする意識がまだ十分ではない。	○生命の尊さや相互理解、寛容について、人とのかわりの中で考え、ロールプレイをし、より身近に感じることができるようになるとともに、よりよい人間関係を築こうとする意識を高める指導をしていく。
外国語	○外国の文化と日本の文化との違いについて関心が低い。	○映像や ALT を利活用して、それぞれの国の文化の違いについて気付かせるようにする。
総合的な学習の時間	○自らの課題を設定するが、調べたいことが見つからないことがある。 ○身近な地域のことがよく分かっていない児童が多い。	○課題を設定する際、自分が興味をもてるような課題なのか、なぜその課題にするのかを明確にし、設定するようにさせる。 ○自分たちの住む地域の良さを知る活動を取り入れる。 ○学ぶ意欲を高めるため、地域人材を活用し、地域の良さに触れる機会を設定する。
特別活動	○集団の中で自分の考えや意見を持ち、発表することが不得手である。	○小集団で話し合う機会を増やし、自分の考えをアウトプットする機会を設ける。学級全体で意見を交換する場では、意見が偏っていないようにするとともに、多くの意見を出す雰囲気をつくる。